

新作ドキュメンタリー映画

# 精神病院の ない社会

大熊一夫監督作品

事前申込×切  
11月8日(金)  
午前・午後  
2回上映!

「むかしMattoの町があった」は  
1980年までのイタリア精神保健  
改革の物語でした。

あれから37年経った今のイタリア、  
そして日本の現状を映像で追います。

2019年

**11月16日(土) 10:00-17:00**

■会場 春日市ふれあい文化センター サンホール (252席)

■参加費 一般 900円 当事者 500円

## 第1回 上映会

10:00~11:45 ※開場9:30

新作ドキュメンタリー映画「精神病院のない社会」監督大熊一夫  
革命的な精神保健法ができて40年経ったイタリア、世界で初めて精神病院を完璧にやめて38年  
経った町トリエステ、「ルポ・精神病棟」秘話、元三枚橋病院院長の石川信義医師・トリエステ歴代  
3人の精神保健局長・イタリア上院議員のインタビューなど、ニュース満載

## 講演会

12:45~14:30 ※開場12:15

講演 大熊一夫監督「“牢屋”こそ治療だ!のニッポン・  
自由こそ治療だ!のイタリア」司会:渡邊真里子(ちはやACTクリニック)

## 第2回 上映会

14:45~16:30

新作ドキュメンタリー映画「精神病院のない社会」監督 大熊一夫

【申込み】福精連: FAX (優先) : 092-292-0561 代表者氏名・電話番号・上映人数等を裏面に記載

電話: 092-292-0560 ①お名前 ②所属 ③電話番号

※席に余裕があれば当日受付も可能です。お問合せ下さい。※料金は当日受付にてお支払いいただきます。

【主催】(公社)福岡県精神保健福祉会連合会[福精連] / (公社)全国精神保健福祉会連合会[みんなねっと]

(一社)ちはやACT / 日本のMattoの町を考える会

【後援】全国精神障害者地域生活支援協議会[あみ] / きょうされん福岡支部

地域精神保健福祉機構[コンポ] / ACT全国ネットワーク

# ドキュメンタリー映画上映 「精神病院のない社会」

上映された映画は、ある主婦が夫のドメスティック・バイオレンスに耐えかねて警察に通報したにもかかわらず、警察の方は「妻が自殺しようとしている」という夫の虚偽の発言の方を信じてしまい、結果として主婦の方が精神病院に強制入院させられてしまった事件から話が始まります。そして大熊さんが精神病院に潜入ルポをした1970年から、現在に至るまでの日本の精神病院の不条理とその変わらなさを、日本とイタリアの関係者へのインタビューを交えながら考えさせられる内容となっています。 詳細はこちらで、<http://180matto.jp/index.php>

監督 大熊一夫さん (K. Okuma) ジャーナリスト

【略歴】 元朝日新聞記者、元大阪大学大学院教授。

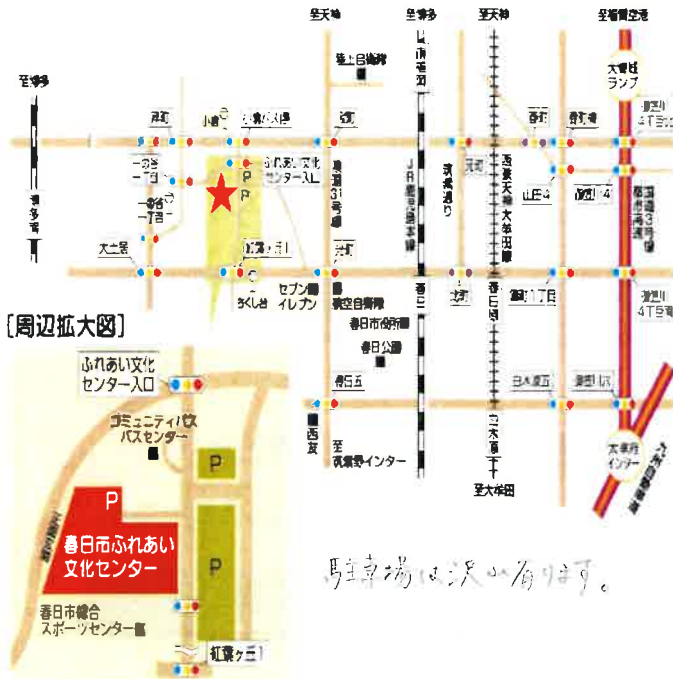
1970年に都内の私立精神病院にアルコール依存症を装って入院、『ルポ・精神 病棟』を朝日新聞に連載。鉄格子の内側の虐待を白日のもとに。『ルポ・精神病棟』(朝日新聞社)、『精神病院を捨てたイタリア 捨てない日本』(岩波書店)『精神病院はいらない!』(現代書館)など著書多数。2008年フランコ・バザーリア財団からバザーリア賞を授与される。



会場: 春日市ふれあい文化センター

福岡県春日市 大谷 6-24 TEL 092-584-3366

※ 西鉄バスを利用



乗車バス停	行先番号	乗車時間	下車バス停
西鉄春日原駅	1・2番	約9分	「ちくし台」より徒歩約10分
JR春日駅	1・2番	約6分	「ちくし台」より徒歩約10分
JR博多南駅	2番	約12分	「ちくし台」より徒歩約10分
JR南福岡駅	45番	約7分	「小倉」より徒歩約6分
西鉄井尻駅	45番	約18分	「小倉」より徒歩約6分
西鉄大橋駅	42番	約15分	「小倉」より徒歩約6分

＜申込書「精神病院のない社会」上映&講演会＞ 令和元年11月16日(土)開催

\*当日は、この申込書と代金をご持参下さい。参加費/人: 一般 900円、当事者 500円

福精連FAX : 092-292-0561 申込〆切日: 11月8日(金)

所属	映画上映	午前(第1回)	午後(第2回)
代表者氏名	一般	人	人
	当事者	人	人
代表者電話番号	講演会		人